



2026年3月26日

各位

会社名 株式会社ケイファーマ  
代表者名 代表取締役社長 福島 弘明  
(コード：4896、東証グロース)  
問合せ先 常務取締役 CFO 松本 真佐人  
(TEL. 03-6629-3380)

#### 難聴疾患に関する学校法人北里研究所との共同研究契約延長のお知らせ

当社は、iPS細胞を活用したiPS創薬事業において、2023年6月より、学校法人北里研究所（以下、北里研究所）と難聴治療薬に関する企業治験を目標とした共同研究を継続して実施しております。この度、今後の臨床試験開始に向けた非臨床データ取得や、各種評価系を用いた有効性の評価を更に進めるため、本日開催の取締役会において共同研究契約の期間を2027年3月31日まで延長することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

本研究においては、北里大学医学部分子遺伝学藤岡正人教授のグループと、ヒトiPS細胞から分化させた内耳細胞を用いた難聴モデルにおいて、臨床試験に向けた非臨床データの取得や有効性の評価に関して一定の進捗・成果が得られております。今般、延長する共同研究期間におきましても、企業治験の実施に向けた取り組みをさらに加速するための具体的なデータ取得を継続するとともに、円滑な治験開始に向けた研究開発戦略を構築してまいります。

難聴は、聴力の良い耳で35dBを超える聴力の損失を指し、世界の人口の5%以上、約4億3000万人が罹患し、有病率は年齢とともに増加し、60歳以上の人々のうち25%以上が生活に支障をきたす難聴といわれており<sup>1)</sup>、補聴や人工内耳、再生医療などの有効な治療や予防のニーズが高まっています。当社といたしましては、今回延長する共同研究を通じて、引き続き国内外での難聴を適応症とした医薬品の製造販売承認を目指した実用化に向けた取り組みを加速してまいります。

なお、本件による2026年12月期の業績予想の変更はございません。

当社といたしましては、医療イノベーションを実現し、医療分野での社会貢献を果たすべく、再生医療の早期実現とiPS創薬による医薬品開発を通じて社会実装に向けて最善を尽くしてまいります。

#### 北里研究所とは

学校法人北里研究所は、我が国の近代医学の礎を築いた細菌学者、北里柴三郎を学祖とし、9学部18学科、附属病院、附置研究所などを有する生命科学の総合大学です。2015年にノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智特別栄誉教授の功績に代表されるように、実学の精神をもって研究成果の社会還元に取り組み、教育・研究・医療のさらなる発展に貢献することを目指しています。

以上

1) WHO, “Deafness and hearing loss”, <https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/deafness-and-hearing-loss>